

# 介護職員初任者研修・福祉用具専門相談員科

県立県央産業技術専門校では、再就職を促進するために、ハローワークに求職登録をされている方を対象に、職業訓練を実施いたします。

1. **受講対象者** 公共職業安定所長の受講指示、受講推薦、支援指示が受けられる方。
2. **定員** 20名（一般離転職者）
3. **訓練期間** 3か月 平成29年10月2日(月)から平成29年12月27日(水)  
 訓練時間 午前9時30分から午後4時30分まで 6時間  
 休日 日・月・祝日及び校長が定める日とする。
4. **訓練実施場所** 宇都宮市 サン・アビリティーズ内（企業組合労協センター事業団）  
 宇都宮市屋板町 251-1（駐車場はあります）
5. **訓練内容** 別紙、訓練カリキュラムをご覧ください。
6. **受講料他** 受講料は無料です。講習用テキスト代(約10,000円)は入校時に集金いたします。  
 健康診断料(約5,000円)・訓練生総合保険料(3,000円+振込手数料)・消耗品は、受講者の負担となります。
7. **募集期間** 平成29年8月1日(火)～8月31日(木)
8. **選考日時** 平成29年9月13日(水)受付は午前9時30分から50分です。  
 選考は午前10時から実施いたします。
9. **選考会場** 県央産業技術専門校 本館3階 視聴覚教室  
 宇都宮市平出工業団地 48-4(車の方は本校グラウンドを使用してください。)
10. **選考方法** 提出書類・適性試験(30分、50問)・面接試験の結果により、総合的に選考します。
11. **試験結果の簡易開示**



適性試験の得点については、口頭で開示を請求することができます。開示を希望する場合には、受験者本人が合格通知書又は結果通知と写真付き身分証明書を持参の上、県央産業技術専門校までおいでください。電話、はがき等による開示請求はできません。

## 12. その他

- ① 指定の入校願書及び履歴書にご記入の上、住所を管轄する公共職業安定所に申込をしてください。
- ② 選考には、筆記用具等、雇用保険受給資格者証(雇用保険受給者)を持参してください。辞退する場合は電話連絡をしてください。
- ③ 応募者が少ない場合は、訓練を中止する場合があります。予めご了承願います。



(選考場所) 県央産業技術専門校

TEL: 028-689-6380



(訓練実施場所) 宇都宮市 サン・アビリティーズ

TEL: 028-656-1458

## 訓練カリキュラム

企業組合労協センター事業団 宇都宮地域福祉事業所

訓練科名	(県央校) 介護職員初任者研修・ 福祉用具専門相談員科 (10月コース)		訓練終了 後に想定 される 就職先	高齢者介護施設(特別養護老人ホーム、老人保健施設、サービス付高齢者向け住宅等)高齢者介護サービス事業所(訪問介護、デイサービス等)、障がい者介護・支援施設等	
訓練期間	平成29年10月2日~12月27日 (3ヵ月)				
訓練目標	福祉への興味関心を持って、全員で就職を目指す。幅広い分野での活躍ができることを認識し、一人一人の個性や特性を生かした働き方を模索しながら、自信を持って就職へ向かえるよう意識の向上を図る。介護職員初任者研修・福祉用具専門相談員としての自覚と向上心を持って、その知識や技術を存分に発揮していく意欲を持つ。地域社会と繋がった働き方や、福祉の担い手を意識し、働きがいのある現場を作り上げる。				
訓練内容	科目	科目の内容		訓練時間	
	学 科	オリエンテーション	入校・修了にあたってのオリエンテーション		9
		介護職員初任者研修	栃木県の実務に基づく学科で、介護職員初任者研修課程を習得する。		126
		福祉用具専門相談員養成講座	栃木県の福祉用具専門相談員養成講座実施要項に基づき、養成講座を習得する。		33
		環境整備	地域の環境整備、住環境整備など、高齢や障がいがあっても自立した生活が出来る地域や住宅の環境について学ぶ。		6
		就労・就職支援	ビジネスマナー・就職相談		30
		福祉総合講座	多様な福祉現場の実践事例を講座で習得し、広い視野をもって働ける技術を身につける。		12
	実 技	介護職員初任者研修	栃木県の実務に基づく学科(演習) 実際の福祉現場における演習及び介護技術の総合復習。		81
		福祉用具専門相談員養成講座	栃木県の実務に基づく実習(演習)科目で、福祉用具の活用に関する知識を、体験を持って習得する。		33
		環境整備	自立生活のために必要な形態を整備し、福祉的視点での環境整備の実践を学ぶ。		3
		障がい者スポーツ	障がい者スポーツを模擬体験。		6
		地域活性化	地域との関わり方を学び、地域の活性化に向けての在り方や可能性を見出す。		9
	訓練時間総合計 348時間(学科216時間、実技132時間)				
	主要な機器設備 (参考)	ベッド、車椅子、ポータブルトイレ、杖 STT(サウンドテーブルテニス)、ボッチャ 競技必要物品			